

17年度 名寄地区コート開き大会（高校・一般） 男子決勝 戦評

名寄籠友会	72	}	<table style="margin: 0 auto; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="padding: 0 5px;">22</td><td style="padding: 0 5px;">-</td><td style="padding: 0 5px;">14</td></tr> <tr><td style="padding: 0 5px;">18</td><td style="padding: 0 5px;"></td><td style="padding: 0 5px;">18</td></tr> <tr><td style="padding: 0 5px;">14</td><td style="padding: 0 5px;"></td><td style="padding: 0 5px;">19</td></tr> <tr><td style="padding: 0 5px;">18</td><td style="padding: 0 5px;">-</td><td style="padding: 0 5px;">16</td></tr> </table>	22	-	14	18		18	14		19	18	-	16	69	士別クラブ
22	-	14															
18		18															
14		19															
18	-	16															

主審 伊藤（洋）
副審 吉田

第1ピリオド

名寄籠友会、士別クラブ共にハーフコートマンツーマンで試合が始まる。士別クラブは、名寄籠友会のミスから小笠原が速攻に持ち込み初得点した。しかしその後は、名寄籠友会に3連続得点を許し、しかも6点目の坂口のシュートが、バスケットカウント、フリースローも決められ、一気に7-2とされてしまった。士別クラブは、溝淵小笠原の得点で追いつけるが、自チームのミスも重なり失点も多くなる。名寄籠友会 村上のレイアップが決まり、11-8となったところで、1回目のタイムアウトをとった。タイムアウト後、互いに加点し、一進一退の状況となるが、第1ピリオド終了間際に、名寄籠友会は、竹内のミドルシュート、ステップイン、坂口のミドルシュートと3連続得点し、22-14と、8点リードで第1ピリオドを終えた。

第2ピリオド

士別クラブは、開始早々 田村の速攻 小笠原の3P等で5点差まで追いつくが、得点した後、すぐに入れ返されてしまうという展開が続き、なかなか5点差以内に追いつくことはできない。結局、40-32という、第1ピリオドの点差と同じ、8点差のまま第2ピリオドを終了した。

第3ピリオド

名寄籠友会は、開始早々 竹内のオフENSリバウンドからのショットで得点し、この試合初めて、2桁の点差をつけることに成功した。更に、名寄籠友会は、宮澤のミドルシュートで得点し、一気に点差を広げた。しかしここで、士別クラブは、中澤が、2本の3Pと速攻のレイアップシュートで得点、更に、小笠原がミドルシュートを決め、あっという間に、45-44と一点差まで詰め寄ることに成功した。名寄籠友会は、荒の3Pシュートで、何とか突き放しにかかるが、士別クラブ 田村のゴール下、宮路の速攻などで追いつき、52-50と再び2点差に戻した。ここで名寄籠友会はタイムアウトをとったのだが、試合再開後すぐに士別クラブ 宮路に逆転の3Pシュートを決められてしまう。この試合初めてリードを奪った士別クラブであったが、第3ピリオド終了間際、名寄籠友会 宮澤に得点を許してしまい、54-53 名寄籠友会1点リードの状況で第3ピリオドを終えた。

第4ピリオド

開始早々、士別クラブは 溝淵のインサイドプレーで、再逆転。しかし、名寄籠友会も 竹内のリバウンドショットで、再々逆転した。この後は、両チーム1点差2点差の攻防を続けたが、名寄籠友会 宮澤のフリースローを交えた6点連続得点で、一気に6点差となった。ここで士別クラブも踏ん張り、田村のゴール下、小笠原のミドルシュート、中澤のドライブで再度65-65の同点に追いついた。士別クラブは、同点とした後、自チームのミスから速攻を決められ、また2点差とされてしまうが、宮路のフリースローで、再度67-67の同点まで押し戻した。この後は、名寄籠友会 宮澤が、フリースローを1本だけ決め68-67、士別クラブ 小笠原から 田村へのアシストが通り68-69と、どちらが勝つか判らない攻防となった。最終的には、名寄籠友会 竹内 宮澤が、インサイドで得点し、72-69 という3点差で試合を終了した。

逆転、再逆転、再々逆転というシーソーゲームで、名寄地区の2005年度コート開き大会の最後を飾るにふさわしい熱戦となった。

戦評 杉本 仁